

2月8日 市婦協合併10周年・市赤十字奉仕団結成30周年 活動を振り返り、発展誓う

記念式典は、あえりあ遠野で開催され、会員ら110人が出席。関係性の高い両団体の活動を振り返りました。記念事業としてフリーアナウンサーの小田加代子氏が講演。また、日本赤十字社岩手県支部の



功労者などに感謝状が贈られました

下本桂子氏を講師に災害時の高齢者生活支援について学び、出席者は、両会のさらなる発展を誓いました。

2月6日 いわて子育てにやさしい企業等認定書交付式 仕事と子育ての両立を支援

㈱小友建設(菊池雅明取締役)は、子育て支援に取り組む企業などに贈られる、「いわて子育てにやさしい企業」に本市で初めて認定されました。同社は、育児休暇3年や2時間単位の年次休暇



交付を受けた小友建設の菊池取締役(中)ら

取得の導入、保育園でのボランティア活動などを実施。菊池取締役は「働きやすい職場づくりと子育て支援に一層励みたい」と抱負を語りました。

2月2日 第46回保育のつどい 友達と一緒に元気に表現

保育のつどい(市保育協会主催)は市民センター大ホールで開かれ、市内13の保育園の年長児ら154人が多彩な舞台を繰り広げました。舞台では、趣向を凝らした踊りや劇、



園児の一生懸命な姿は観客を魅了しました

和太鼓などを披露。遊びを通して培った自信を堂々と発揮する園児たちに、来場した保護者ら約800人から大きな拍手が送られました。

1月27日 ふるさと遠野音楽祭 ふるさとの音色を奏でる

音楽祭は、市民センター大ホールで開かれました。会場では、市内中学生と全国で音楽交流活動を展開する学生団体Mother Earth Projectが1年かけて作り上げた「ふるさと遠野共創曲」



響き渡る音色と身体表現で会場を魅了しました

などを披露。遠野のイメージをメロディに乗せ、オーケストラの演奏と中学生らの合唱や身体表現で多くの観客を魅了しました。

2月11日 わらすっこわくわくふえすた 子育て拠点で楽しいイベント

わくわくふえすた(市保育園父母の会連合会主催)は、元氣わらすっこセンターで開かれ多くの家族連れで賑わいを見せました。会場では、風船使いこのすけのバルーンア



バルーンアート作りを体験しました

トや岩手県立美術館による洗濯バサミや紙コップを使った遊びなどを実施。子どもたちの笑顔が弾け、会場には元氣な声が広がりました。

2月13日 平成30年度「自衛隊入隊予定者激励会」 日本の平和を守る決意を胸に

激励会は市役所とびあ庁舎で開かれ、本市市長と自衛隊関係者らから出席した入隊予定者4人に激励の言葉が贈られました。本市からは、(写真左から)菊池立展さん(宮守町鱒沢)、恩徳太智さん(松崎町)、菊池奏さん(松崎町)、



激励会で決意を語った入隊予定者

八重樫俊平さん(宮守町宮守)のほか、小森幸さん(上郷町)が入隊する予定です。

2月3日 第35回清養園氷上まつり 天然リンクは寒さ忘れる楽しさ

同まつりは、清養園スケート場で行われ、市民ら330人が参加しました。始めに、濱田芽生子さん(松崎町)ら団体出場経験者が躍動感あふれるスケートを披露。その後、



スタートの合図で勢いよく飛び出す児童

スケートレースが行われ、小中学生らが勢いよくリンクを滑走(結果はP7へ)。餅まきや抽選会なども行われ、賑わいを見せました。

2月2日 第62回遠野市スキー大会・赤羽根雪まつり 遠野の冬を大満喫!

市スキー大会と赤羽根雪まつりは上郷町の赤羽根スキー場で開催され、多くの家族連れスキー客らが来場しました。スキー大会では、スキーとスノーボード種目でタイムを競



最速目指し熱いレースを展開

走(結果はP7へ)。雪まつりでは豪華景品をそろえた抽選会やアイスの早食い競走などが行われ、会場には笑顔と歓声が広がりました。

2月23・24日 第36回遠野昔ばなし祭り 遠野の昔話、聞いてがんせ

遠野昔ばなし祭り((一社)遠野市観光協会主催)は、とおの物語の館遠野座で開催されました。昔話を披露したのは、遠野昔話語り部の会会員と小友、綾織、附馬牛、土淵小学



児童の昔話に心なむひととき

校の1~6年の児童21人。会場には多くの市民や観光客らが訪れ、同会員と児童の軽快で趣きある昔話の数々に、耳を傾けました。

2月22日 第20回遠野町家のひなまつり 人間ひな壇で幕開け彩る

市内50カ所以上の特設会場で行われた同ひな祭り(遠野商工会主催)のオープニングセレモニーは、市役所本庁舎多目的市民ホールで行われました。遠野保育園の年長児17



企画した商工会女性部のみなさんと園児ら

人がひな人形の華やかな衣装に身を包み登場。愛らしいお雛様姿の園児がひなまつりの歌などを披露すると、会場には笑顔が広がりました。

伊香学^{まなぶ}のチャタヌーガ^{ナウ} Vol.11

米国チャタヌーガ市との交流を、派遣職員・伊香がお伝えします!

ビールで日米交流!

暖かい日が続いたチャタヌーガ市では、2月の最高気温は25℃を記録。「オカメザクラ」が咲き、早くも春の陽気を感じさせています。

2月5日18時(日本時間6日午前8時)、日米を画面で繋げたオンラインミーティングイベントが開かれました。チャタヌーガブルーイングカンパニーと遠野醸造

のメンバーら約40人が参加し、両社のビール開発などについて情報を交換しました。同カンパニーが自社製品について説明した後、遠野醸造の袴田大輔さんが、ホップ栽培や和紙などについて説明。皆さん遠野産ホップに興味深々。同ホップを使った両社コラボレーションビールの開発や、イベントの開催など、期待が膨らむ話が飛び交い、大いに盛り上がりました。



1・2_ビール醸造家などが集まり、パソコンを使ったビデオ通話でお互いの情報を確認し、交流しました 3_満開のオカメザクラ



チャタヌーガ派遣職員 伊香学さん